

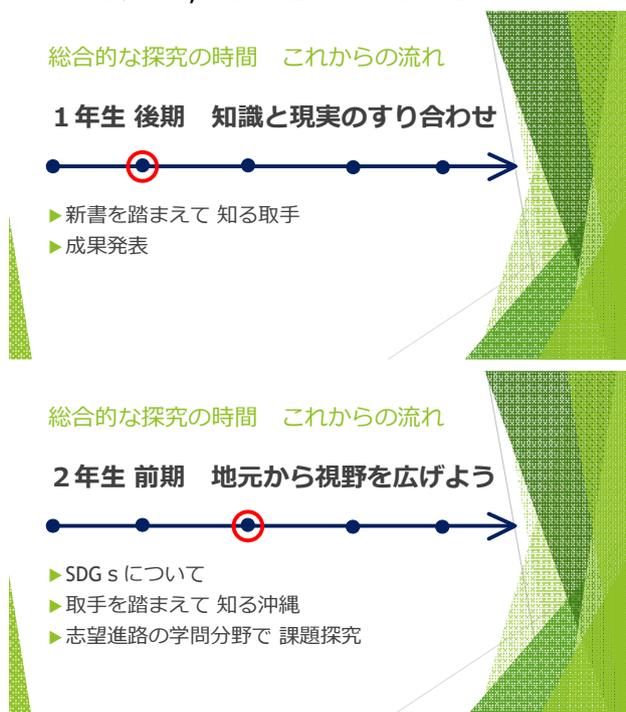
藤高の「探究」学習



通常授業となり一週間が過ぎました。学校も少しずつ少しずつ、元の状況を取り戻しつつあります。

改めて、今年度の本校の「目指す学校像」3つを示します（詳しくは、本校ホームページ「経営計画表」をご覧ください）。

- 1 一人一人の生徒と誠実に向き合い 高い知性 たくましい気力 礼節を重んずる人間を育成する学校
- 2 みずからの力を信じ 社会の中の人間として たゆまず真理を求めることのできる人間を育成する学校
- 3 地域に信頼され 地域から日本・世界へ グローバルな視野を持つ人間を育成する学校
特に3点目、**地域との関わり及びグローバルな視野の育成**に関しては、本校で設定する「探究」の時間が大きく寄与すると考えています。



1年生は、分散登校時からこの時間に積極的に取り組んでいます。

左のパネルは、本校の「総合的な探究の時間」の流れの一部を示したのですが、今後1年生は、様々な「新書」を参考文献に、地元「取手市」にアプローチしていきます。

授業中、担当の先生から「修学旅行で行く沖縄と地元取手の建物（文化財建造物）は、どのように違うのでしょうか？」というような問いかけがありました。

自分たちの周りの環境がどのような特徴を持つものなのか等、ボーっと生きてしまうと素通りしてしまうような視点を、この授業を通して自己の課題として再構築していくことが可能と

なると考えています。本校は、このような取組を積み重ねながら、主体的によりよい地域社会を作ろうとする姿勢を育成してまいります。今後の彼らの成長にご期待ください。